

におくはやはりのせうかというところ、よくわづかしく、当分におく
ずいともお手度の当初予算が二千万ほどあったと思ひますが
・最終的には当初予算の時点におくは一部署事務組合予
算と合致しうおひせせん。したがいまして、よくわづかしく、
くは一度に組合の力に負担金を交付するものではなく、四半
期にやりするもので最終のや四半期、あるいはや三・四半期の時
点におく補正するところを考へていふます。

○議長(石川信義君) 十九番 岩田博君

おまりにや福生町の理事者は補正く補正が多すぎる
と思う。当初から四千円というものがはつきりおひきいるものにな
るべく補正だと、三千円とすれば一千円も違つており健全は予
算とわしは思ふはいいです。

(その通り)というものがあり、おまりにや補正が多すぎる
かと健全は予算と組んでおひきと下ゆである。当初から
千円も違ひはせん、

○議長(石川信義君) 六番 関末吉君

軍下は問題だと思ひます。また一千百もあるんだと、それ
はこの財源はどうするの、おまにやよくわづかしく、
おまにやよくわづかしく、おまにやよくわづかしく、
はいは下はせん。またの面でも補助金というものが、
全部自己財源と持ちあふることになるんですが、
何と、やのほどにやが、おまにやよくわづかしく、
の岩田議員の質問は下切に思ひますが、おまにやよくわづかしく、
とく、おまにやよくわづかしく、おまにやよくわづかしく、
るんが、おまにやよくわづかしく、おまにやよくわづかしく、

○議長(石川信義君) 暫時休憩いたします。

午後一時二十二分 休憩

午後一時四十分 再開

○議長(石川信義君) 休憩中に引き続き議事を合議で申し上げます。

○議長(山内信兼君) 総務課長 高水 大君
○総務課長(高水 大君) 先きほどの十九番議員さんの質問にお答

之
に
て
す。

大分私とカの下手隙かり誠に申し訳けはくと存じま
す。終務委員会のときにおさまるもそのめい解ニういう
定した段階でございすので、私とカその点ゆへもさつに
頼みに詳細に申しあげはかつたことにつきますもカゴ
たいと思ひます。若田議員さんのおうしやること誠に
摘でございすも、今後一都事務組合ほうに町予算との
おさまるは当然海軍を期しかかることめいほうにヤ
と思ひますので、その点よりうとて承願いたしと思ひ
ます。

謙長
(石川信義)
下九番
若田
博長

○九番(若田)博志 今の問題はい了解いたしあしたが、
にちすこは予算を粗手はいちう強く要望してあきたいと
いす。

○
長
（双川信義君）
九番下野行次君

○ 几番(下野行天君) 厚生委員長にお伺いしたいんですが、昭和四

手前年度予算の中へ、福祉センターの予算にツマカ二層議
 さいに思ひますけれども、福祉センターの補助金は三月三十一
 までには了しはせぬはうな工事であると思ひますけれども
 、その工事がどのようなにほつておられるかということとを層議の過程
 におき検討さめはうかな手前年度予算を層議さめたのかという
 か、またこの工期は補助金とのかりみがあり、三月三十一日まで
 でさあがりはかつたら補助金を打ち切る等の問題が起つてくる
 と思ひますけれども、さうした点も検討さめ、この予算を層
 議さめたのかどうかお願ひいたします。

○蕭長
及川信義君
厚生
本貫長
小澤
外二七君

○厚生本賞長
海に七君
にたい子
の野
義員
の
ゴ
賞
内
ズ
ゴ
入
海
子

か厚生委員会といたし、まは福祉センターの建設につき時
別委員会でございす。また、子に委員会からも三名の委員があつて
おり、その施設とか進めにつまは審議してござる。した。
議長（石川信義君）九番下野行次君

九番 下野行天君 とういふと、平井手度予算にありても、
とういふことから補助金が打ち切られても、この予算には関係
なく運用にまいると、見解からこの予算が見えぬというわけ
うか

議長 名川信義君 厚生委員長 小堺仁七君

厚生 平賀長(小堺仁七君) とういふ細かい論議はおしえておいて、

どうも私どもは、とういふところは、この補助金の問題、建設の厚
い、とういふ特別委員会が十分検討しているとおると思っております。

議長 名川信義君 九番 下野行天君

九番 下野行天君 補助金を含んだの補正センター関係の予算と、

うまい、とういふ関係なく、ただ机上の上での審議という二つに
解決しようとするというわけか。

議長 名川信義君 厚生委員長 小堺仁七君

厚生 平賀長(小堺仁七君) たいしてのちがうですが、細かい運業
に、とういふ周知しておりますので、机上と申すわけは、やめさせて、

知れませんが、各委員から、とういふご発言を、ういふせん
ました。 厚い、とういふ考えであります。

議長 名川信義君 九番 下野行天君

九番 下野行天君 最後は、二箇所にいたしますが、とういふすと

この四ヶの手度予算というものは、福祉センターについては、厚
生委員会と、とういふ細かい点で、検討せずに、この予算を
予算を決定したと、考へて、よろしいわけですね。

とういふと、この予算に、とういふ工事は、特別委員会が検討
して、あるかも知れませんが、所管は厚生委員会と、
ういふので、厚生委員会と、この予算に、よく、疑念を、とうい
ふ、感があるわけですね。

議長 名川信義君 厚生委員長 小堺仁七君

厚生 平賀長(小堺仁七君) 私どもは、とういふことは、答に、ういふ
検討した、とういふが、建設面は、先きほど申したとおり、
リタナ、とういふおしえて、今度、とういふに、指摘して、
ういふ、当委員会、とういふ、ういふ、十分考え、ういふ、

たいと思つて。

○議長(名川信義君)

○七番(木下生田力君)

建設委員長に二質問いたします。

一、道路第二四号線、すなわち、林竹屋さんの下水の道路を二、

三、この路線は、其地排水路とて出る三十八年に工事、決定さ

る、あります、が、六手を経過した、今日、は、い、う、に、決、定、さ、

二年か三年にはなる、か、め、か、う、な、い、と、通、う、と、二、ろ、に、エ、リ、マ、ス、と、

二年のうちに、す、な、わ、ち、四、十、七、年、に、は、や、る、だ、う、う、と、い、う、こ、と、は、聞、こ、

あります、が、この道路の整備に、さ、う、の、よ、う、に、二、層、議、が、な、さ、

いた、の、か、層、議、が、ほ、う、い、ま、う、た、い、う、は、さ、の、状、況、を、二、説、明、願、い、

たいと思つて。

○議長(名川信義君)

○建設委員長(堀野鉄之助君)

木下議員の二質問にお答をいたし



辺排水路、中央幹線の工事費が、本年、度、予、算、九、十、三

十、の、工、事、請、負、費、で、四、十、二、百、五、十、万、円、が、計、上、さ、れ、ま、あ、り、ま、す

が、この面にお、う、工、水、の、下、か、う、中、福、生、よ、り、に、二、十、三、百、三、十、リ、の

溝を、埋、設、す、る、と、い、う、こ、と、を、二、ご、い、ま、す、。、さ、い、に、つ、く、ま、う、と、お

う、く、四、十、六、年、度、に、お、い、ま、は、二、指、摘、の、と、お、り、か、か、る、と、い、う、説

明、が、あ、り、ま、う、の、で、。、当、委、員、会、と、い、た、し、ま、う、ま、は、舗、装、面、に、

つ、く、ま、う、と、は、層、議、に、ま、あ、り、ま、せ、。、説、明、を、二、説、明、願、い、く、か、

い、う、か、わ、か、り、ま、せ、ん、が、。、め、道、の、舗、装、面、に、つ、く、ま、は、排、水、工、事、を

来、年、は、か、か、る、と、い、う、こ、と、を、二、ご、い、ま、す、の、で、。、二、ご、い、ま、す、。、舗、装、す、る

こ、は、い、と、い、う、こ、と、は、委、員、会、と、い、ま、は、層、議、過、程、に、は、お、示、さ、せ、

る、こ、と、に、

○議長(名川信義君)

○厚生委員長(小堺仁七君)

先、さ、ほ、ど、四、十、五、年、度、一、般、公、計、万、円、の

厚生委員会所管分、。、私、が、児童手当を二、十、百、六、十、万、円、と

申、し、あ、げ、た、つ、マ、リ、を、二、ご、い、ま、す、け、れ、ど、二、十、四、年、と、申、し、あ、げ、た、と、い、う、こ

と、二、ご、い、ま、す、の、で、。、お、し、二、十、四、年、と、は、う、ス、あ、り、ま、う、た、う、二、百、五、十、万、円、

願いたります。

○議長(及び信義君) 以上で質疑を終ります。

おはかりいたします。

吉は不決であります。

二重議ごういませんか。

本報は委員長報告のとおり決するに

(二重議はしと評ぶ者あり)

○議長(及び信義君) 二重議はしと認めます。

吉は委員長報告のとおり不決いたります。

○議長(及び信義君) 日程第六議案ヤニヤ七号昭和四十二年度福

生所国民健康保険特別会計予算と議題といたります。

本報について厚生委員長に審査を託していただきます。

委員長から報告願います。

(厚生委員長 い場仁七君登壇)

○厚生委員長(い場仁七君) 指刃が二つあります。たので審査報

告とせすいたります。

(議案審査報告書附説) 別添参照

本報審査の概要につて補足して説明申し上げます。

本報の審査にあたっては、担当課長から予算は元の範

疋を求め、質疑に入りました。

説明によりますと、予算の可上総額は一億三千四百九

十円六角で、お手度より二千七百二十円六角の増となっております。

増額分の下は市のほかに伊貴および保険給付費であつて、こ

とに市が医師に支払う医療費の七割を増とすると分る。その

額一億二千四百九十円六角は、お手度実績により確定した西

の増を見込み、加えて医療諸費が本年二月より改正さ

れたばかりで、年間どの程度になるかはその推定が

必ずしも、このために医療率四六%、一人当り医療費

が三千三百円程度とて積算してあります。これは、

国および市の支弁金を見込んでその差額を保険料として可上

した。あくまで当初予算であり、四十二年度所得の確定

と云ふこともなく、保険料の決定は九月以降になるであろうに



般合計あり本年比廿万は増の二百廿万はの繰入金を見込
んで補成したという説明があり、また過去三カ年分が医師
に支払う医師会の顧問説明もグラフに示す説明があり、その
うちと近時の医師支払いは月に示すその変動が甚しく
不安定であり、年間給付費のつかみ方に苦心したことを判明
してまいりました。

当委員会としていさすは別段の質疑や意見があるが、原
案について不決したところの決定した不決したところを示す。

そうして、協議のうえ、当委員会に決定することとしますよ
うお願いいたします。報告といたします。

○議長(石川信義君) 以上で委員長の審査報告は終了しました。

（二）より委員長報告に示す質疑を行ないます。
（「委員長は」と呼ぶ者あり）

○議長(石川信義君) 以上で質疑を終ります。

おはかりいたします。議案が二十と号に示す委員長
報告は不決であります。本会には委員長報告のとおり、



決するに委員はごういませなか、

（「委員長は」と呼ぶ者あり）

○議長(石川信義君) 一、委員はこと決めます。よろしく議案が二十

と号は委員長報告のとおり不決いたします。

○議長(石川信義君) 日程が七議案が二十と号昭和四十二年度福

生市の益質屋持別会計予算を議題といたします。

本会について、厚生委員会に審査を付託することとします。
委員長から報告願います。

（厚生委員長 川岸仁七君登壇）

○厚生委員長(川岸仁七君) 二指及び三の二の審査報告を

二と号に示す。

（議案審査報告書朗読）別添参照

本会の審議の経過、概要に示す補足と申し添えます。
本会の審議にあたり、担当課長より説明を受け
たが、その結果と示す三と号は増、前上額は



リ、今午百廿五万三千円の出入合計となり、支出については一般管理費は主に人件費四百九十九万三千円、事業費としは加美平区画整理事業二百六十九万四千円は来年度より三千三百六十円の減と、確保は事業として既に摩沢原地区事業費として百本年から積極的に事業を行はうとのみ千九百四十六万四千円は来年度より四千七百八十九万四千円と増額といふことと打ち合はせ、確定した事業委託料のみ千円を計上した。おのゝある等の説明があり、ブダニに存する質疑が行はれ、本年度および来年度の多摩河原の事業計画にどう関係にあり説明を受けた。

加賀平野に備置の本年度計画に於ては、二ヶ所は
の踏切り際の秋山酒屋さんより、一の南の方から始め
河木さんの手前までの家屋移転費十三棟は、二ヶ所は
ここにしよう説明があり、地内の東側の二ヶ所は道路は
カーブをなして補修する。また最上より、三ヶ所は
グランド等の



交通により非常に道路がひどいという實況に於いては社と協
議してゐる。武蔵野台が終るすゝの第一般道路とて考
えまゝ。移転はできるにけり事業を避けるという二つで
ございませう。さめにせうござる多分のところは避けるよう考
慮するといふ答が有り、委員会とては全負一致とて本果
に於て結果を決定すべきものと決定した所やございませう。
何とぞご審議のうえに決定くださるようお願い申しあり
ます報告といたしませう。

議長(及川信義彦)以上で、委員長の審査報告は終りました。
二つより委員長報告に、おする質疑と行はります。

○議長(及び信義君)以上で質疑は終了です。

おはかりいたします。
はかばかです。
委員長の報告のとおり決するに
おはかりいたします。
委員長の報告のとおり決するに

(要讀心と呼吸者等)

